

資料 3 - 1

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
(第2回)

2023年1月16日 (月) 15:00-17:00

「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」 で示された「国における推進方策」の取組状況について

第5章 国における推進方策

本章では、新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるため、国において推進すべき方策について提言する。

- (1) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示
- (2) 教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関する事例収集・分析
- (3) 学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実
- (4) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実
- (5) 学校施設整備指針の改訂
- (6) 普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告 P39より

→国における推進方策の取組状況について、次ページ以降で説明する。

取組状況①

学校施設整備指針の改訂等について（通知）（4文科施第166号）（令和4年6月28日）

取組状況

令和4年6月、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（最終報告）」を踏まえて、「学校施設整備指針」を改訂するとともに、どのような学校施設を目指していくのか、学校施設整備の方向性を目標水準として示し、学校設置者等に通知した。

4文科施第166号

令和4年6月28日

各都道府県知事
各都道府県教育委員会教育長
各指定市教育委員会教育長 殿
附属学校を置く各国公立大学法人の長
構造改革特別区域法第12条第1項の
認定を受けた各地方公共団体の長

文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部長

下 間 康 行

（公印省略）

学校施設整備指針の改訂等について（通知）

先般、「今後の学校施設の在り方に関する報告書について（通知）」（令和4年3月31日付け3文科施第535号）においてお知らせしたとおり、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」最終報告（別添1）、「これからの特別支援教育を支える学校施設の在り方について」報告書（別添2）を踏まえ、**文部科学省では各学校種の計画・設計上の留意事項を示した「学校施設整備指針」を改訂するとともに、新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）を策定しましたので通知します。**

については、下記の点に留意し、地域の実情等を踏まえつつ、教育を進める上で必要な施設環境の確保に努めるようお願いいたします。

なお、学校施設の整備に当たっては、国庫補助や地方財政措置などの財政支援制度（別添3）も活用することができます。

このことについて、各都道府県教育委員会におかれては、域内の市町村教育委員会等に対して、各都道府県におかれては、所轄の学校法人等に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課においては所轄の学校設置会社及び学校に対して、それぞれ周知するようお願いいたします。

第5章 国における推進方策

本章では、新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるため、国において推進すべき方策について提言する。

- ★（1）新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示
- （2）教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関する事例収集・分析
- （3）学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実
- （4）新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実
- ★（5）学校施設整備指針の改訂
- （6）普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

取組状況

新たな時代の学びを実現する教育環境向上と老朽化対策を一体的に推進していくためには、長寿命化改修の可能性を広げていくことが重要である。

このため、構造・法令上の課題を中心に、どのような障壁を取り除く必要があるかについてや、国庫補助単価に関する標準仕様の見直しについて、調査研究などを実施しているところ。

①既存学校施設改修等の技術的課題検討会

(事務局 施設企画課)

<目的>

長寿命化改修等を通じた教育環境向上と老朽化対策の一体的な整備を進めるに際して、構造体の見極めが困難、法的制約への対応方法が不明、改修のノウハウや整備内容の情報が不足などの技術的な課題がある。これらの課題を解決して、設置者における一体的な整備の推進を後押しする。

<検討事項>

技術面でのボトルネックを把握・分析し、解決策の検討等を進め、分かりやすく解説する資料を作成、公表する。

②公立学校施設の国庫補助単価に関する標準仕様の見直し業務（委託事業）

(委託先 日本建築学会)

<目的>

公立学校施設の国庫補助単価について、根本的な見直しが長年されていない状況にあるため、昨今の実勢に応じた標準仕様に基づく単価となるよう、見直しを行う必要がある。

<検討事項>

近年整備された学校施設を参考に、有識者により標準仕様の見直しを行う。

第5章 国における推進方策


本章では、新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるため、国において推進すべき方策について提言する。

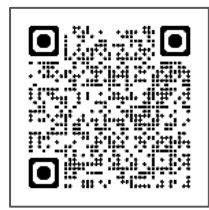
- (1) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示
- ★(2) 教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関する事例収集・分析
- ★(3) 学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実
- (4) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実
- (5) 学校施設整備指針の改訂
- ★(6) 普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

取組状況

学校設置者には、既存施設の改修ノウハウがない、専門の職員不足のため専門的・技術的なアドバイスが欲しいという課題があることから、令和4年11月、新しい時代の学びを実現する学校施設の整備や活用を技術的に支援するプラットフォームを開設した。具体的な機能は、①先進事例の情報発信、②相談窓口、③同じ目標や悩みをもつ方々のコミュニティづくりの3つがある。

CO-SHA Platform ～ co-creation(共創) , sharing ideas (共有) ～

<p>I</p> <h3>新たな学校施設づくりのアイデア集</h3> <p>学校施設の整備・活用事例を使いやすいコンテンツとして掲載します</p> <p>令和5年度以降も掲載数を拡大予定</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 事例ごとにPDFで出力可能 ✓ ビジュアルや図面などの情報を充実 ✓ 絞り込みに便利なタグ機能 	<p>II</p> <h3>アドバイザーへの相談窓口</h3> <p>学校建築アドバイザーによる助言や派遣を行う相談窓口を設置します</p> <p>各分野の専門家への相談受付中</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 学校建築のエキスパート ✓ 改修実績のある実務経験者 ✓ ICTを活用した新しい学びに関する有識者 など <p>相談例： 改修による柔軟で創造的な空間づくりのためのアドバイスがほしい</p>	<p>III</p> <h3>イベント&コミュニティづくり</h3> <p>ワークショップの開催やプロジェクトチームの募集・活動支援を行います</p> <p>全国的な共創の実現に向けた取組</p> <p>Step1. ワークショップイベントの実施</p> <p>Step2. 現場同士の対話を通じた、全国的な共通課題の抽出</p> <p>Step3. 共通課題の解決に向けた、プロジェクトチームの形成・支援</p> <p>フィードバック 解決手法の全国展開</p>
--	---	---



<https://www.mext.go.jp/co-sha/index.html>

第5章 国における推進方策

本章では、新しい時代の学びを実現する学校施設の整備を着実に進めるため、国において推進すべき方策について提言する。

- (1) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の方向性（目標水準）の提示
- (2) 教育環境向上と老朽化対策の一体的整備に関する事例収集・分析
- (3) 学校施設整備のための財政支援制度の見直し・充実
- (4) 新しい時代の学びを実現する学校施設整備の技術的支援の充実
- (5) 学校施設整備指針の改訂
- (6) 普及啓発、適切なフォローアップと更なる調査研究等の実施

★関連するもの